

2025年11月1日(土)

13時 開演

田熊の舞台

(国指定重要有形民俗文化財)

田熊八幡神社境内

(津山市田熊2384番地)

雨天：広野小学校体育館

第3回公演

広野子とも歌舞伎

弁天娘女男白波

稲瀬川勢揃いの場

八幡ふれあい太鼓
日本舞踊

津山東中学校吹奏楽部演奏

懸命に
稽古をしています。
入場料無料です。
観に来て下さい

屋台もあります

・クレープ
・いたりやき
・わたあめ
・パン各種
・飲物
・他



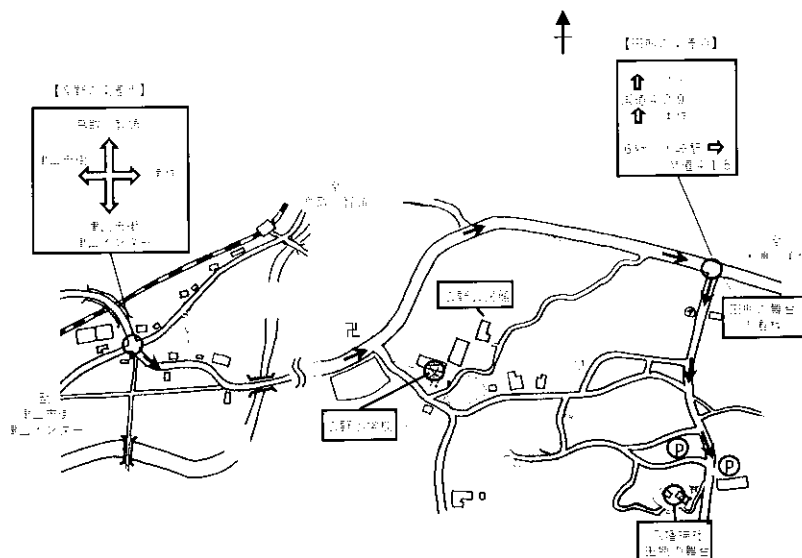
主催：広野子ども歌舞伎教室 広野子ども歌舞伎実行委員会 問合先：広野公民館 0868-29-0380

この事業は、(公財)福武教育文化振興財団、(公財)赤い羽根共同募金、(公財)津山文化振興財団、(公財)エネルギー文化・スポーツ財団、(株)山田養蜂場各位の助成金で開催しております。

田熊の舞台

明治4年(1871)に、大工野上米右衛門により建築されました。棧瓦葺き入母屋造りで、上手に梁間半間・桁行1間の太夫座が作り付けられ、「足回し」または「カラカサ回し」と呼ばれる血回し式回転台が設けられています。地域では「回り舞台」と呼ばれています。また、歌舞伎舞台として使用される場合、田熊八幡神社拝殿から舞台下手に花道が掛け渡されます。

昭和38年(1963)4月に岡山県重要民俗資料に指定され、さらに、昭和50年(1975)9月に国の重要有形民俗文化財に指定されました。



広野子ども歌舞伎教室

ここ美作地方は農村歌舞伎(村芝居、地下芝居)が盛んな地域でした。この地域でも、田熊の舞台が残っている様に、度々農村芝居が催されていました。(田熊では地芝居を「地芸芝居」と呼び、表していたようです。)

更に、舞台の奈落には、役者による落書きが残され、その中には播州の役者の名前も見えることから、外部から「座」や「役者」を招いて開催する「買芝居」も盛んに行われていたようです。

このように、この地域は江戸末期から農閑期の娯楽として芝居を楽しむ文化が根付いていました。しかし、平成17年5月の公演を最後に中断していました。芝居の経験者も高齢化が進む中、地芸芝居の文化の衰退消滅を惜しむ声もあり、折角の国宝の舞台も使わなければ朽ちていくことを心配される方々もありました。

丁度、国の重要有形民俗文化財指定から50周年を迎えるにあたり、記念事業を連合町内会広野支部で行うことが決定されました。これを受けて、地域の子ども達による、地域の文化の保存継承、地域との交流、子ども達自身の相互の繋がりを強化と自己達成の醸成を目的とした公民館講座「広野子ども歌舞伎教室」を開設しました。これには、津山市行政、津山市教育委員会を始め、小中学校、地域住民の協力が大きな力となっています。更には、奈義町の横仙歌舞伎からの指導と協力なくしては、広野子ども歌舞伎教室の芝居は成り立ちません。

皆様に感謝感謝です。
令和7年1月、岡山県公民館連合会主催の「公民館職員が選ぶ!講座アワード」において「グランプリ」を受賞。
懸命に稽古を重ねてきた子供たちの雄姿をご覧ください。暖かいご声援を宜しくお願いします。

弁天娘女男白波

正式な演目名は『青砥稿花紅彩画(あおとどうしはなのにしぎえ)』(全三幕)で、1862年に江戸で初演された河竹黙阿弥の作品です。通称「白波五人男」は、義賊として名高い5人の盗賊が登場する人気演目で、特に二幕目を「べんてんむすめおのしらなみ」と呼ばれることがあります。

前段として、弁天小僧と力丸が、武家のお嬢様と家来に扮して呉服屋「浜松屋」で詐欺を働く場があり、「稲瀬川勢揃いの場」、弁天小僧が切腹し駄右衛門が登場する「極楽寺の場」へと続きます。

【稲瀬川勢揃いの場】

捕手が迷子を探す場面から始まります。5人の盗賊が土手に勢ぞろいしそれぞれが名乗りを上げていきます。通常は桜の絵の道具幕を使用しますが、子ども歌舞伎では、背景の窓を生かし、道具幕を使用しないで演じます。借景の那岐の山々もお楽しみに。

日本駄右衛門(につぽん だえもん)

義賊の首領。情に厚く盗みはするが非道はせず。睨みと低い声での台詞回しが頭の風格を醸す。(小学生の声ですが、頭の風格に挑戦しています。)

弁天小僧菊之助(べんてんこぞう きくのすけ)
女装して詐欺を働く美青年。娘に化けて美人局も。見た目美しく、台詞も小気味好い。(とても魅力的なキャラを演じます。)

南郷力丸(なんごうりきまる)

弁天小僧の兄貴分。押しの強い海の男。(声と態度のデカさを表現するよう頑張りました。)

赤星十三郎(あかほしじゅうざぶろう)

優しい風情の美少年。色気と凄みを併せ持つ。(小学生ですが色気と凄みに挑戦しました。)

忠信利平(ただのぶ りへい)

元は赤星の家来。神出鬼没の盗賊。(知的でスマートな役です。役者本人も!)

七五調の名乗りの名台詞や立ち回りをお楽しみに